

令和5年度 六大学との連携事業一覧(イベント)

本表の並び順について

「大学」(足立区での開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学

「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
1	放送大学	全区民	学びピアの縁側、出展	東京足立学習センター	サークル「筆跡研究会」「かかとの会」	生涯学習総合施設「学びピア21」の各施設が集まり、体験型プログラムを実施することで、新規利用者の獲得やリピーターの増加、各施設利用者へ横断的な利用を促すことを目的としたイベント「学びピアの縁側」において、放送大学より2サークルが参加。毎月開催のイベントに可能な限り出展した。	対面	毎月1回	—
2	東京藝術大学	幼児 小中学生	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「音楽教育支援事業」	音楽学部	佐野靖教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施する。	対面	通年	10,699
3		小中学生	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「イミグレーション・ミュージアム・東京」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井成昭(秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師)のプロジェクト。区内の小学校2校と中学校1校へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じて多文化社会を考えるエデュケーション・プログラムを実施した。	対面	1/9、1/16、1/19、1/23、1/25、1/26、1/30、1/31	227
4		全区民	アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「Memorial Rebirth 千住」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。平成30年以来となる大規模イベントを東加平小学校で実施した。これまでの縁をつなぎ直すとともに、新たな仲間づくりを行った。	対面	4/1、4/2、6/4、7/14、7/22、7/24、7/28、10/7、10/8、10/28、11/11、11/14、11/19、11/22、11/29、12/3、3/23、3/24	8,113
5			アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「千住でじゃれ音楽祭」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「じゃれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、じゃれと音楽が結びついた「じゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。梅田地域学習センターで開催された梅田クラブ5周年記念コンサートや主催事業「1DAYパフォーマンス表現街」に出演した。	対面	4/19、6/4、8/23、11/12	1,062
6			アートアクセスあだち 音まち千住の縁 「千住・人情芸術祭 1DAYパフォーマンス表現街」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	地域の人と場所との関係性に着目した、新たな「縁」を結ぶことを目指す。「1DAYパフォーマンス表現街」では、公募パフォーマンス・ゲストアーティストらが、千住ほんちよう商店街等で同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。商店街主催の「こども大名行列」と同時開催し、事前周知や当日の整備・ボランティア等で千住本町商店街振興組合、千住本町五町会、足立成和信用金庫本店の協力を得るなど、地域との新たな縁を紡いだ。	対面	11/12	5,858
7			アートアクセスあだち 音まち千住の縁 拠点形成事業「仲町の家」	音楽学部音楽環境創造科、大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。	対面	通年	7,206
8			足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽部音楽文化専攻	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的事業は以下のとおり ①保育者を対象に音楽を通して乳幼児と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動(おとあそび研修) ②音楽療法のノウハウとスキルを区内保育施設の音楽活動に活用するための出張型園内コンサート及び園内研修 ③障がいのある子どもとその家族を対象としたコンサート(二部制)	対面	①5/31、6/28、7/10、9/5、10/4、10/26、12/19、1/30 ②6/16、7/7、10/20、11/7、11/28、1/24 ③11/12	570
9		全区民 (未就学児は除く)	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽学部音楽環境創造科	田村文生准教授	コンサートや動画配信、ワークショップなどを通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。コンサートやワークショップ(R5年度から)を年4〜5回で実施。その一部を後日動画配信する。	オンライン、対面	9/23、11/3、12/23、1/27	401
10	東京未来大学	幼児、小学生	こどもみらい祭	—	—	学生組織と地域の小学生が協力して出店企画を実施。令和5年度は千寿小学校、千寿本町小学校、千寿常東小学校、千寿第八小学校より40名の生徒が参加した。	対面	7/22	1,138
11		中高生	アートワークショップ	こども心理学部こども心理学科	高橋文子准教授	大学生指導のもと、アートの興味ある中高生が色鉛筆を使ったデッサン・レジンアクセサリーづくりから自己表現を学ぶ。	対面	6/18	24
12		大学生	あらかわ自然体験ボランティア	生命環境学部 アニマルサイエンス学科	並木美砂子 特任教授	荒川ビジターセンターのボランティアとして受け入れ、あだち自然体験デーの運営に参加することを主な目的に募集した。コロナ禍以前から計画していたが、大学側の活動や公的な催事が正常化して来たことから、令和5年に本格始動した。	対面	9/16	2
13		全区民	「ながら見守り」パネルディスカッション	こども心理学部こども心理学科	出口保行教授	「ながら見守り」登録者の増加及び活動のさらなる質の向上と登録者数の増加。	対面	2/3	236
14			防犯・防火駅頭キャンペーン	校友会自治委員会	—	足立区主要4駅(北千住駅、綾瀬駅、竹ノ塚駅、西新井駅)で4年振りに各駅最大200人程度の防犯・防火に関する啓発キャンペーンを開催。区、町会自治会、警察、消防、その他関係団体のほか、東京未来大学の学生にもご協力いただき、約3,000人の方に啓発物品を配布した。	対面	12/2、9	3,000
15	東京未来大学	全区民	くらしフェスタ(消費生活展)	こども心理学部こども心理学科	木内菜保子教授/高橋文子准教授	消費者団体などの活動成果の展示や、官公庁・生活関連企業などの情報提供を通じて消費者意識の啓発を図ることを目的とした内容。親子世代がメインターゲットのため、子ども向けのワークショップ(ぶんぶんごま作り、キャンディボット作り)を出展依頼。	対面	10/21	185
16	帝京科学大学	幼児	のびのびブレイディ	教育人間科学部 幼児保育学科	本多みどり教授/飯泉祐美子教授/杉本信教授/呂曉彤教授/今西ひとみ准教授/本場有紀准教授/且直子准教授/富岡麻由子准教授/安部久美助教/田口直子助教/松山寛助教/渡辺令子助教/渡部晃子助教/小林咲里亜 特任助教	幼児保育学科の大学生と一緒にアクセサリーづくり等9つの遊びのブースを保護者と一緒に自由に遊ぶ。	対面	11/18	140
17		小中学生	フラッグフットボール教室	—	—	一般社団法人キャタピラーズが帝京科学大学のグラウンドにてフラッグフットボール教室を開催。案内チラシを千住地域周辺の小学校に配布した。	対面	5/14、5/21、10/29、11/12	85
18			ボーリング調査の公開	教育人間学部 学校教育学科	植木岳雪教授	長門小学校、舎人第一小学校の校庭内でボーリング調査を実施。その様子を小学校高学年生に公開し、足立の地質について解説した。	対面	6/23、26	120
19			体験！1日大学生	生命環境学部 生命科学科	佐野友彦教授/堀和芳准教授/山田秀俊准教授	中学生向けにした大学講義を体験することで自らの興味関心を深める。併せて、大学生がキャンパスライフを紹介。	対面	8/26	67
20			夢の体験教室	教育人間科学部 学校教育学科 高理科コース	大日向浩教授/植木岳雪教授/小池守教授/倉山智春准教授	小学生向けにわかりやすした大学の講義を体験する。	対面	12/3	64

No	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
21	帝京科学大学	高校生	青井高校の帝京科学大学見学	入試・広報課広報活動係/教育人間学部学校教育学科	高橋可奈氏/楠木岳雷教授	青井高校の高校生1〜3年生が帝京科学大学で模擬授業を体験した後施設を見学した。	対面	7/31	19
22		大学生	拉致問題啓発パネルの展示	—	—	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10〜16」にあわせた啓発事業として、啓発パネルを大学構内に展示した。	対面	12/11〜15	—
23		高齢者	介護予防教室	東京理学療法学科	奥田裕講師	日本ダーツ協会と地域包括千住ブロック合同の介護予防教室「シニア交流ダーツ大会」	対面	11/4	100
24			筋肉組成測定会	医療科学部看護学科	糸井和佳教授	大内病院と共催し、筋肉組成を測定。食生活や運動のアドバイスを行う	対面	8/26	22
25			ボランティアサークル「足立区を元気にし隊」	医療科学部東京理学療法学科	奥田裕講師	2023年度より、学生がボランティアサークルを結成。活動場所として包括の事業(認知症カフェ、掲示板、封入等)や自主グループの活動を紹介した。また、ケアマネから利用者にスマホの操作を教えてほしいとの相談を受け、サークルにつなげた。	対面	6/24、7/8、15、29、9/2、16、10/7、14、2/16、29、3/9、18	24
26		全区民	【防災普及啓発】帝京科学大学学園祭(桜科祭)	—	—	防災クイズ及びアンケートを実施。回答者には、簡易トイレ、クラッカー、除菌シートを普及啓発用として配布。	対面	10/28、29	550
27			帝京科学大学学生×地域のシニア おしゃべり処	医療科学部看護学科	田中博子教授、学生	地域のシニアと看護師を目指す大学生とおしゃべりを傾聴ボランティアがサポートする。	対面	10/3、10	129
28	東京電機大学	—	清掃美化活動実施団体	—	—	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が3,300円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	毎週月曜日	320
29		大学生	花いっぱいコンクール	生体反応研究室	—	花いっぱい運動の一環として実施。大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	5
30		全区民	北千住美化推進による秋の清掃活動	大学全体	—	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内をごみ回収場所として提供してもらっている。	対面	11/9	187
31	文教大学	小中学生	あだち子ども未来起業塾	経営学部経営学科	鈴木誠教授	小学5・6年生を対象としたSDGsについて学びながら起業の一連の流れを体験する事業に、ゼミの学生がグループメンターとして参加	対面	8/4、8/5	44
32			OからENGLISH	国際学部国際理解学科	塩澤泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体験する。	対面	7/8、2/12	92
33		全区民	千本桜まつり 文教大学地域連携課出展	地域連携課	—	令和6年度開講のオープンユニバーシティの周知PRのため、文教大学地域連携課がブースを出展。大学オリジナルグッズの配布やアンケートを実施した。	対面	3/23、24	—
34			はなはた文教科マルシェ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	足立成和信用金庫、花畑地区の地域自治会で組織された実行委員会により、草加市も含む大学周辺の地域の皆様の交流促進や地域経済の活性化を目的に企画・運営されたイベント。	対面	10/29	3,000
35		全区民	はなはた防災キャンプ	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	花畑地域全体の防災意識の向上と大学生と地域住民の交流を目的として、地域と連携した学生主体によるイベントを実施。	対面	7/29	48
36			第38回日本観光研究学会全国大会	国際学部国際観光学科	海津ゆりえ教授	・全国の観光関連の研究者を招き綾瀬・千住でエクスカーションを実施 ・「Inclusion X tourism」をテーマにシンポジウムを開催。冒頭において工藤副区長が挨拶。	対面	8/8〜8/10	27
37			あだちNPOフェスティバル2023ボランティア	—	—	「NPOを知り、体験してもらう」ことを目的に区内で活動するNPO団体やCSR企業が出展するイベント。大学連携を図るため、文教大学にボランティアを募った。	対面	11/18、19	2
38			花畑ガイドウォーク「花畑でハナハタ知ってハナタカに」	—	学生	桜花亭での講座のあと、実際に花畑地区を歩きながら、地名に潜む自然や歴史について学べるガイドツアーを実施した。地域のことを知っていただく機会として、文教大学の学生にボランティア協力を依頼した。	対面	9/24	3
39			花畑ガイドウォーク「毛長公園＆大鷲神社」	—	学生	地域の事前や歴史について学べる講座＆ガイドツアー。桜花亭で地名などについて学んだあと、現地までガイドと一緒に歩いた。地域のことを知っていただく機会として、文教大学の学生にボランティア協力を依頼した。	対面	11/23	4
40			蜜ろうキャンドル作り	国際学部 国際理解学科	海津ゆりえ教授	自然素材(蜜ろう)を使って、災害時やキャンプ時にも役立つキャンドルを作った。地域連携を深めるため、文教大学に出店を依頼。	対面	11/25	24
41			エラビー→いっしょ!!	—	—	文教大学学園祭における選挙啓発を目的としたイベント企画。	対面	11/11、12	377
42		—	TOKYO周知祭2023:足立区出展ブース 文教大学清水麻帆ゼミナール出展	国際学部国際理解学科	清水麻帆准教授ゼミナール生徒	足立区をイメージしたクラフトビールづくりの活動をPR。	対面	11/18、19	—
43			光の祭典 文教大学清水麻帆ゼミナール出展	国際学部国際理解学科	清水麻帆ゼミナール生徒	足立区をイメージしたクラフトビールづくりの活動をPR。	対面	12/2、3	—
44			地域健康づくり連絡会「出会いの会」交流会での講演	—	中島滋学長	健康づくりに関して、管内で活動している団体や、健康づくり推進員等が一堂に会し、健康づくりに関した講演とともに、互いの事業の報告や紹介を通じて交流し、健康づくりへのモチベーションの向上を図っている。 今回の講演は、4月に文教大学で行われた学長の特別講演を聴講した推進員のリクエストで実現した。	対面	10/31	95
45			ステップアッププログラム	経営学部経営学科	鈴木誠教授	「ステップアッププログラム」セミナーの最終発表会でのコメンテーターとして依頼	対面	2/20	22
46	東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	小中学生	小学校自然教室事業(日光・鋸南)	—	—	小学校5年生の鋸南自然教室、6年生の日光自然教室に随行し、教員の補助をする指導補助員・養護指導員として大学生が参加している。	対面	5月〜12月	4
47	東京未来大学/東京電機大学	大学生	医療的ケア児の課題解決ハッカソン	こども心理学科/こども心理学科/理工学部電子工学系/工学部先端機工工学科	小谷博子准教授/荒船龍彦教授/桑名健太准教授	学生による医療的ケア児の課題解決を目的としたハードウェア・ソフトウェアの開発イベント。	対面	8/7	39
48	東京未来大学/帝京科学大学/東京電機大学/文教大学/聖徳大学/獨協大学	全区民	あだち未来スケッチ地域活動交流会 大学生アクション	—	—	大学生による地域活動を発表し交流する。	対面	6/24	29
49	東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	—	秋のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区の「秋のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	10/2、20、11/29	33
50	東京藝術大学/東京未来大学/帝京科学大学/文教大学		春のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	5/15、19、6/6、21	33
51	六大学	全区民	あだち区民まつり「A〜Festa 2023」区内6大学アンケート&ルーレット抽選会	—	—	区内6大学の周知を目的としたルーレット抽選会を実施。参加者には各大学から提供を受けたノベルティグッズをプレゼントした。	対面	10/7、8	3,440